

WONDER

CREAM H

FOR PROFESSIONAL USE

製品特徴

- クリームHは高還元・高pH・低アルカリの薬液です。
- 健康毛の場合、親水性部分のS-S結合にアタックする方が効果的である事から、還元剤はチオグリコール酸を選びました。
- 健康な毛髪表面は撥水性が強いので、アルカリ剤を使って早めに軟化させ、浸透の準備が出来た段階でアルカリが揮発し還元剤を働かせるという考えの元、揮発性の高いアンモニアを使い、効率の良い還元とダメージの軽減を両立させました。

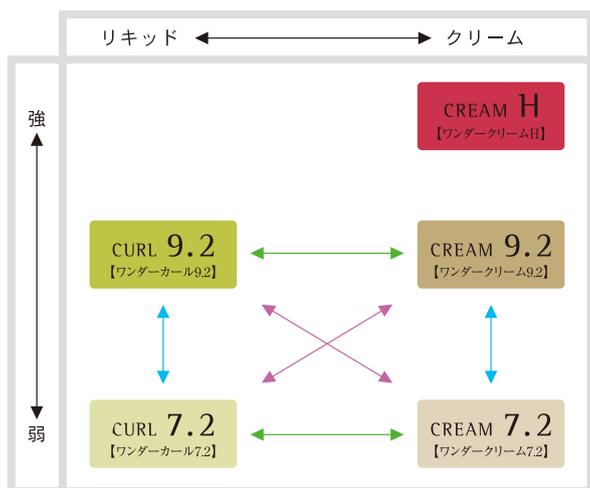
薬液の相性

- 施術中にクリーム9.2・7.2と重なる部分が出てくるため、強さや感触への影響には充分配慮して調整しました。
- 強さに対応した反応性トリートメント処方は、単品使用でも従来品に比べ質感の良い仕上がりを表現する事が出来ます。

ジチオって何

クリームHには、「ジチオ」と呼ばれる原料が配合されています。正式には、ジチオジグリコール酸ジアンモニウムとって、チオグリコール酸アンモニウムが二つ繋がった（酸化された）状態になっています。ジチオを入れた処方と入れない処方と比較した場合、入れた処方の方がS-S結合の還元と酸化が効率よく行われることが解っています。チオグリコール酸とジチオを入れた2成分系の薬液を使用すると、還元によって切断されたS-S結合をほぼ元通り再結合する事が出来るという事です。

クリームHの位置付け



● 縦軸ミックス (パワー調整)

9.2と7.2をミックスすることで薬液の強さを調整、高いレベルでのカール・ストレート形成が可能です。

● 横軸ミックス (粘度調整)

リキッドタイプとクリームタイプをミックスすることで、微粘性及び操作性の高い任意の粘性を作れます。

● クロス軸ミックス (パワー調整・粘度調整)

薬液のパワーと粘度をコントロールすることで、完成度の高い形状形成力とコンディションの良さが実感できます。

ワンダーシリーズは、毛髪の状態に合わせて薬液の調整ができるシステムですが、クリームHの目的は健康毛の十分な還元処理なので、使用目的から考えてミックス表から少し離れたところに存在しています。毛髪上で重なる場合もあると考えて処方したのでミックスしても問題はありません。ワンダーと組み合わせても結果を出せて、しかも強めの薬液として単品で使うこともできるという位置付けになっています。強い薬液は感触を阻害することがありますが、専用の反応性トリートメントをベースに開発することで、この問題を解決しています。クリームHは、ダメージレベル1~2の毛髪に対応しています。

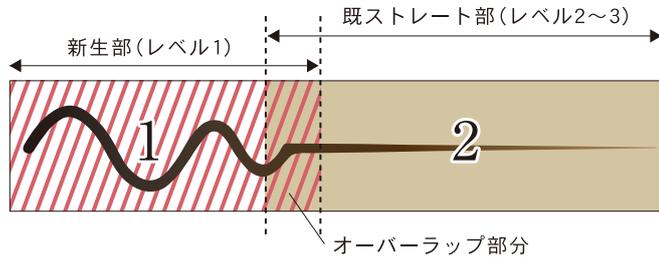
ストレートプロセス



CREAM H
FOR PROFESSIONAL USE

新生部と既ストレート部の塗り分け

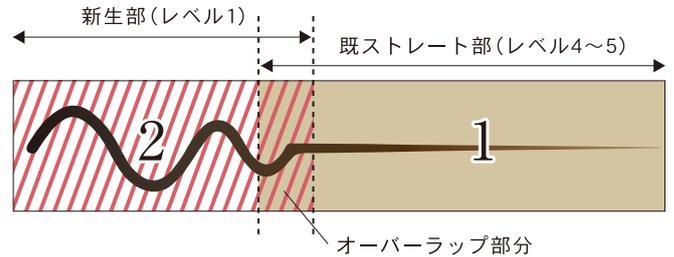
【ダメージに差が少ない場合】



新生部にクリームHを塗布します。その後、新生部に1cmくらいオーバーラップさせ既ストレート部にダメージレベルに合わせた薬液を塗布します。

※オーバーラップ部分は先に塗布した薬液の影響が大きいため、ダメージの差によって塗布する順番を替えます。そうすることで薬液の作用を調整しオーバーラップ部分に安心して還元を行うことができます。

【ダメージに差が大きい場合】



既ストレート部にダメージレベルに合わせた薬液を塗布します。その後、既ストレート部にオーバーラップさせ新生部にクリームHを塗布します。

1. 毛髪診断 髪のダメージ、髪質等の状態を確認します。
2. プレシャンプー 頭皮を傷つけないように毛髪をやさしく洗います。
3. 前処理 毛髪の状態を整え薬剤の浸透を均一化します。
既ストレート部 ロー～ミドルダメージ●インナーCMC ハイダメージ●ラメラクリスタル
4. 1剤塗布 毛髪の状態に合わせて薬剤を選定し塗布します。 ※還元チェック用に1～2箇所ロッドを巻いておきます。
※薬液選定
●レベル1…クリームH ●レベル2…9.2 ●レベル3…9.2:7.2 1:1 ●レベル4…7.2 ●レベル5…処理剤組合せ
5. 放置 キャップをして10～15分放置します。
6. 還元チェック テスト用に巻いておいたロッドをはずしてカールチェックします。
7. 中間水洗 ぬるま湯で丁寧に1剤を流します。
8. 中間処理 ダメージによって失われていたCMC成分やタンパク質を補います。
◇ラメラクリスタルを塗布しチェンジリンスしてブレーンリンスします。タオルドライ後、ケラチャージ、インナーCMCを塗布します。
9. ドライ 根元を中心に約90%位を目安に乾かします。
10. アイロン ●ローダメージ/160℃～180℃ ●ミドルダメージ/140℃～160℃ ●ハイダメージ/130℃前後
11. 2剤塗布・放置 根元から毛先までムラなく塗布します。タイム…15分
12. ブレーンリンス 2剤を丁寧に洗い流します。
13. 後処理 毛髪内部の結合強化、毛髪表面の補修、残臭を除去します。シャンプーボールでグロスフィール(20倍希釈)をスポイトで塗布しチェンジリンスでしっかりなじませます。シャンプーボール内を流しそのまま、キトパール(10倍希釈)をチェンジリンスで馴染ませます。3～5分放置してブレーンリンス後トリートメントをします。

14. 仕上げ

取扱いディーラー

Orange Cosme

有限会社オレンジコスメ

〒790-8012 愛媛県松山市姫原3丁目7-55

<http://www.orange-cosme.com>